

第19期 第2回 男女共同参画推進懇談会 会議要録

- 1 日時 平成30年7月23日(月) 午前10時～正午
- 2 場所 庁議室
- 3 出席者 松井会長 井上副会長 岩脇委員 大橋委員 佐藤(敦)委員 小林(明)委員
小林(澄)委員 藤多委員 木谷委員 楠井委員 丸田委員 吉田委員
佐藤(良)委員 西委員 濱田委員 鷲尾委員 岩本委員 堀委員 小西委員
事務局職員(人権・男女共同参画課長 男女共同参画担当係長 男女共同参画担当係員)
欠席者 川人委員 持田委員 河原委員 山内委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題
 - (1) 会長 開会のあいさつ
 - (2) 委員紹介
 - (3) 議題
 - ① 第1回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について 資料2
 - ② 「第4次練馬区男女共同参画計画」平成29年度事業実績および平成30年度事業等について 資料3～5
 - ③ 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定について 資料6
 - (4) 報告事項
 - ① 「審議会等の女性の任用状況」の調査結果について 資料7
 - (5) その他
 - ① 次回会議の日程 11月5日(月)午後2時～4時
 - ② その他
- 7 配付資料
 - 資料1 第19期練馬区男女共同参画推進懇談会委員名簿(平成30年5月1日現在)
 - 資料2 第1回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)
 - 資料3 第4次練馬区男女共同参画計画の点検・評価について
 - 資料4 第4次練馬区男女共同参画計画平成29年度事業実施状況および平成30年度事業等
 - 資料5 第4次練馬区男女共同参画計画 目標別 指標と目標値一覧
 - 資料6 第5次練馬区男女共同参画計画の策定について
 - 資料7 「審議会等の女性の任用状況」の調査結果参考 第4次練馬区男女共同参画計画平成29年度事業等に対する意見書
<配布ちらし等>
すてっぷ74号
えーるだより60号
- 8 会議の概要

○ 開会

会長第2回男女共同参画推進懇談会（以下「懇談会」）を開催する。

出席の状況と配布資料の確認を事務局から行う。

（事務局より出席説明、配布資料確認）

○ 委員紹介

会長第1回懇談会を欠席された委員および異動のあった委員の紹介を事務局から行う。（第1回懇談会を欠席した委員4名を紹介）

○ 議事

会長それでは議題に入る。

◆3議題(1) 第1回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について

会長第1回男女共同参画推進会議要録（案）を既に配布しているが、訂正はあるか。小さな修正は事務局で修正し、大きな修正は懇談会で確認してから修正する。現時点では修正なしとのことであるので、確定後、練馬区ホームページに掲載される。

それでは、次の議題に入る。

◆3議題(2) 「第4次練馬区男女共同参画計画」平成29年度事業実績および平成30年度事業等について

会長資料について事務局から説明する。

（事務局より資料3～5の説明）

会長前年度はこの資料についての意見書をまとめた。今年度は計画策定に男女懇として関わるため、この資料について直接意見書をまとめる機会はないが、計画を策定するにあたり第4次計画の進捗の確認が前提となる。計画策定のプロセスの中で議論することはあるが、直接意見を述べる機会は今日ぐらいしかない。

昨年度提出した意見書の「意見書作成にあたって」の中で、進捗状況がわかりづらいと、書式について言及した。そのため、今年度の資料4については、重点項目の3段階評価に変更はなかったが、書式の中に男女懇からの意見欄を設けたことで、男女懇からの意見に対して、区としての考えが記載されている書式に近づいたと、個人的には思っている。

資料4について、内容、形式の両面について意見・質問を出してほしい。

委員昨年度の懇談会意見書内容が記載された書式になっており、良くなったと思う。個々の事業については、それぞれの課でやっているのだから、いいかなと思った。

委員昨年度意見書を区長に提出したことで、次に繋げたと思っている。資料4を踏まえて第5次計画を作成するにあたり、第4次計画への宿題について、事務局はどう考えているか

人権・男女共同参画課長（以下「人権課長」）資料4は第4次計画の2年間の実施状況であり、事業によっては、評価として進捗状況がよくないものもある。今年度は第5次計画への提言をまとめていただくが、資料4は第5次計画に策定に向けての提言の1つの資料としていただきたい。

会長他はいかがか。

委員資料4は成果がよく見えない。事業を実施したことはわかるが、実施したことによる効果が評価されていない。その辺が次年度には必要になってくると思う。

会長他はいかがか。

委員 ホームページを充実させたとあるが、URLが記載されていなかったり、どのSNSを活用するかが記載されていなかったり、具体的なものが見えないものがあった。教員に対しての人権教育実施とあるが、どのような内容なのか記載されていないのが気になった。

委員 評価は実施の有無の評価なのか、効果の有無の評価なのかわかりづらい。実施についての3段階評価は、一般の人が見たらわからない。もう少し評価の段階を細分化するか、事業実施の結果、どのような課題が残ったのかがわかるような方向性を、これから見つけて行けばよいと感じた。

副会長 両親学級について参加人数が記載されているが、男性なのか女性なのかわからない。今後の目標についても、全体の参加人数を増やすのか、父親の参加人数を増やすのかがわからない。もう少し丁寧に書いてもらえるとよいと感じた。

委員 この資料は、事業実施はしているのはわかるが、どこまで達成しているのかがわからない。評価の基準や記載する数値について統一するのは、いろいろな事業があつて難しいと思う。男女別等、細かく記載をすることはできると思うが、それにより見づらくなる可能性がある。資料の目的というか、評価の基準や、わかりやすい実績の数値等がはっきりしていないと、実施していることが整理されて見えてこないという印象を持った。

委員 1つのアイデア提起だが、実績の記載方法を、前年度比の増減や、対象者に対しての参加者の割合とすれば、進捗がわかるのではないか。対象者を把握するのは大変であるので、前年度比であれば、現在の記載方法から大幅な変更なくできるのではないか。

委員 前年比で記載することはできると思うが、内容的なものは数字だけで量れるかどうか、微妙な問題であるので、数字については慎重に扱ってほしい。例えば、前年度と比べて参加者が少なくても充実した内容だった、ということもあると思う。

会長 他はよろしいか。男女懇の意見によりここまで見やすくなったが、まだ問題があるという意見が多かった。前期から効果測定については課題とされていた。数字の羅列は効果を表すことになるのかどうか、また、課題ごとに出し方は変わってくる。今出た意見を次回以降に反映し、何をしたくてそれができたのかどうかがわかる形で改善されるとよい。

会長 他に意見がなければ、次の議題に入る。

◆ 3 議題(3)「第5次練馬区男女共同参画計画」策定について

会長 例年は、資料4のような前年度の事業結果報告に対しての意見書を区長に提出するというをしている。今期は次期計画の策定に関与する2年間となる。今年度は、第5次計画策定にあたっての提言を取りまとめて提出する。その件についての資料説明を事務局にお願いする。

(事務局より資料6の説明)

会長 議論に入る前に補足説明をする。来年度は事務局から出される次期計画の素案に男女懇が意見をし、再来年度からの計画を完成させていくというプロセスになるが、その素案の前段としての提言を行うことが今年度の男女懇で行うことである。その提言についての依頼と提案が記載されているのが資料6である。

提言を作成するにあたって、この場で全員で議論して文章をまとめていくのは現実的ではない。これまでも計画策定時には提言を提出しているが、少なくともここ何回かは部会に分けて議論をし、文章を練り、それを合わせて男女懇として全体を議論するという形をとっている。前回の提言は、4つの部会に分け、その中で議論をし文章化したうえで、それを合わせたものを全体で議論すると

いうプロセスで作成している。したがって、本日の議題として、1点目は専門部会として進めてよいかどうか、2点目は部会の分け方となる。部会の分け方については、事務局からのたたき台として、資料6には現行の目標をもとに5つに分けているが、人数等の関係で4つの方がいいのではないかと、第5部会に★が付いている。これまでのものを検討したうえで今後どうするかということで分けているが、内容的に近いもので議論をした方がよいということと、各委員の作業の負担に偏りがでないようにということで、4つの方がよいのではという提案である。

まずは専門部会方式にするかどうか、専門部会方式となったら、どのような分け方がいいかを議論する。その後、どこの部会に所属するかを伺いたい。

では、専門部会方式でよいかどうかについて、いかがか。

委員 前回の提言作成時は、目標を作るにあたって、いろいろな問題がある中で、その中から課題を絞って目標を作った。そのような作業については、今回は省略となるのか。

会長 前回の提言作成時にどの段階で目標を立てたか失念したが、第3次計画の目標は7つあった。7つは多すぎるという基本方針があり、それを5つにしたが、まだこの段階では十分な決定はなく、部会の中で目標を整理したのではないかと思う。部会の分け方は便宜的なものなので、部会の中でこれまでの計画や施策がどうだったか、また、これからどのようなことが必要かを議論し、部会の中で目標を話し合い、それを全体で議論して目標を決めるということでもいいのではないか。したがって、部会の数は目標の数ということではなく、議論する場の数となる。

作業量と内容面から事務局提案としては、配偶者暴力に関して、第4次計画では目標Iにあるが、目標IVが比較的項目が重くないことと内容が近いということから、目標IVに移した。また、目標Vは内容が少ないことから目標Iと合わせて第1部会で扱うことで4つに分けるということである。

分け方について意見等はあるか。

委員 内容については便宜上部会ごとに分けるが、部会で議論していく中で、他の部会で扱った方がよいということになれば、他の部会に渡すということも可能か。

会長 以前の経験からいうと、必ずしも機能的にはできないので難しくはあるが、現行の計画の反省や総括を踏まえて次の計画を見据えるということで、現行計画に沿って分けている。そのうえで、課題としてあがったものについて、別の目標に入れた方が効果的ということであれば、部会の意見を添えて出してもらい、それを男女懇全体で議論するプロセスがあるので、その段階で移動についての議論ができる。この段階では、目標・項目等は確定ではない。

委員 目標Vの項目や取組は、それぞれ関連した部会に入れた方がよいと思う。なぜ目標V全体を第1部会にしたのか、取組ごとに別々にしなかったのか、説明をしてほしい。

人権課長 目標Vは計画の推進体制についてであり、全体的なものになっている。目標Iについては教育やメディア等大きい課題の取組となっており、その具体的な方法として推進体制が大きく関わってくるところがある。そのため、目標IとVを一緒にする提案をした。それぞれの項目で分けることも検討したが、事務局としては、全体が網羅されている目標Iと一緒にすることで、目標Vの推進体制について、より具体的に反映できるのではないかと考えて提案した。

会長 実務的に、第4次計画の総括も含め、全体を引き受ける部会があった方がよいと感じる。

今問題となっているのは、目標Vを独立させて第5部会とするか、目標Iと一緒にして第1部会で検討するか、他の目標と一緒にするかということである。目標II～IVについては問題提起がない

が、それについてはいかがか。

委員 目標Ⅴと目標Ⅰを一緒にするので、配偶者暴力に関するものを目標Ⅳと合わせることでバランスを取るということか。

会長 目標Ⅳは分量が比較的少ない。量的には目標ⅣとⅤを合わせるのか丁度良いが、内容的に異なる。配偶者暴力については、前回は健康の問題と合わせていたので、配偶者暴力と目標Ⅳを合わせるということを考えた。部会数を4つにするか5つにするかというところで、目標Ⅴを独立させなくてもよいのではないかという提案となっている。

事務局提案について、ご意見はあるか。無ければ、目標Ⅴは第1部会に入れることとし、4部会で専門部会を設置したいと思う。

また、割り振り方について事務局から提案がある。

人権課長 男女懇は現在23名の委員がいるが、遅れている産業連合会からの推薦委員を含めると24名体制となる。4部会だと単純計算で6人ずつとなる。また、学識経験者は4名のため、それぞれの部会に所属してもらいたいのが望ましい。また、関係行政機関の方も別々の部会に所属してもらいたいと思っている。そのため、区民公募・団体推薦委員の方の希望をもとに先に決め、その後、学識経験者と関係行政機関の委員の部会を決めてはいかがか。

会長 今の説明は、24名委員のうち、学識経験者と関係行政機関職員以外の男女懇の中心となる委員でまず部会を決める。各部会が大体同じ人数になるよう希望を募って分かれていただきたい。部会に分かれた後、正副部会長を選出したい。

作業としては、10月の上旬を締切として、提言の部会毎の報告をまとめていただきたい。したがって、8月から9月中旬に1～2回会議を開催していただきたい。会議室については、事務局が区の会議室を抑える。会議の後メールのやり取り等で意見調整し、まとめて文章化するまでを、部会でやっていただきたい。

ここまでで質問があるか。

では、学識経験者と関係行政機関職員以外の委員の所属部会の希望を取りたい。

(希望部会について挙手)

会議終了後、部会毎に集まっていただき、部会の日程調整をしていただく。部会は事務局職員も同席する。次回の懇談会を11月5日(月)午後に予定している。この時は、各部会からの提言の原案を、みなさんで議論する場にしたい。したがって、各部会からの提言案を10月5日に事務局に提出してほしい。各部会から提出されたものは、単に集めるだけでなく、場合によっては、目標の組み換えや内容の調整等を可能な限り事前に調整しながら、全体で議論しやすい形にして懇談会に持ち込めるようにしたい。全体を通して調整が必要なところは部会長と調整し、次回男女懇の1週間前には事前配布する。

何か質問等はあるか。

委員 本日欠席の方の所属部会の希望を聞いた方がよいのではないか。場合によっては、部会委員数が平等にならなくてもいいのではないか。

事務局 あらかじめ欠席連絡を受ける際に希望の部会を聞いている。欠席連絡がなかった方には説明のうえ、決めていただきたいと思っている。

会長 欠席者全員に聞いているわけではなく、部会員数が必ずしも平等にならないかもしれないが、

欠席の方を考慮し、所属部会を変えてくれた委員もいるので、あとは事務局で交渉する。

それでは、次の報告事項に入る。

◆ 4 報告事項(1) 審議会等の女性委員の任用率調査結果について

会長 事務局から資料の説明をする。

(事務局より資料7の説明)

会長 意見や質問はあるか。

委員 公募委員で、女性の応募者は少ないのか。

人権課長 会議体によって応募者は異なっており、女性の応募者が多いものもある。女性の応募を増やすことについては、事業計画の中でも取り上げており、昨年度からホームページ上で、募集が出るたびに紹介しているが、まだまだ行き届いていない。

委員 女性を増やすには保育の有無が大きいと思う。子どもを扱う会議等は、小さい子どもを持つ層が参加できるよう、時間帯についても考慮した方がよい。保育は1歳以上となっているが、育児休業中で少し時間が取れ、意識が高い方は、0歳時保育を希望される方が多い。えーの講座の保育も1歳以上だが、0歳からの保育ができる環境を整えてもらえば、もう少し参加しやすいのではないかと感じている。

委員 「練馬区子ども・子育て会議」・「練馬区保育サービス検討会議」は共働きの保護者に出席してもらえるよう、平日の夜間に開催し、保育も設けているというような状況である。

会長 その他はいかがか。なければ、次のその他事項に移る。

◆ 5 その他(1) 次回会議の日程

会長 次回の開催は11月5日(月)午後2時からとさせていただきたい。会場はココネリ3階の研修室1となる。

◆ 5 その他(2) その他

人権課長 資料4の書式について、意見・提案をいただいた。来年度まとめる際には、いただいた意見等を踏まえ、見やすい形にしたいと思う。来年度は第5次計画への意見をもらうこともあり、資料を見て意見をいただくようなものにしたいと思っている。

その他として、今年度男女共同センターえーるで予定している空調設備の工事について、担当から説明する。

(事務局より空調設備改修工事について説明)

会長 この件について質問等はあるか。

なければ、閉会后、各部会に分かれていただくが、部会では第4次計画の総括等から議論してもらった方がいいと思う。内容については、ある程度の踏襲は考えられるが、全く変わらないというものでもないと思う。第3次計画と第4次計画を比べると内容はかなり変わっている。また、提言については、基本的に「第4次練馬区男女共同参画計画策定に向けての提言」の書式を踏襲することで、問題ないと思うので、この書式になることを念頭に入れ、会議を進めていただきたい。また、この書式に問題があれば、会議の中で議論をしていただき、懇談会で調整する形を取りたい。まずは前回の提言を参照しながら、議論のまとめ方を考えていただければと思う。

それでは、副会長に閉会の挨拶をお願いします。

(副会長から閉会の挨拶・省略)